

令和2年度 事業報告

◇振り返り

令和元年12月末頃に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に拡大し、世の中の形を大きく変えてしまいました。この状況においては、予定した事業は実施できず、予想もしていなかった課題「新型コロナウイルス」と向き合う、苦悩の一年となりました。しかし、大変であった一年を経て確認できたことは、「非接触」であっても「つながり」を切らしてはいけないということです。そのために知恵と工夫を凝らした活動を行いました。

令和2年度は、高根沢町と一体となって策定した『高根沢町地域計画・高根沢町地域福祉活動計画』の初年度でありましたが、コロナ禍において接触を伴う活動の自粛を余儀なくされ、主だった活動を行うことができませんでした。その他にも多くの事業でも縮小や中止をしています。しかし、貸付事業やフードバンク事業など生活に困窮する方に向けての必要な支援は拡充し、また新たなコロナ禍に対応した事業開発に取り組んでまいりました。

☆＝新規事業 ◎＝拡充事業 △＝縮小事業 ●＝中止事業

地域福祉事業

■身近な地域で支えあう地域住民の地域福祉活動を支援しました。

● 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進体制の整備	【愛の基金事業】
● 地区座談会の開催	
△ 赤い羽根共同募金地域助成事業	【共同募金配分事業】
地域団体（自治会、公民館等）の行う福祉活動に対し活動資金を助成	
・ 10月から募集開始したが応募なし	
△ 生活支援体制整備事業	
中学校区ごとに協議体を設置し、高齢者を支える地域づくりについて協議検討	
・ 7月より2層協議体（阿久津、北高）各6回開催、第1層協議体5回開催	

生活支援事業

■日常生活に不安のある人や、困難な状況にある人をサポートし自立への支援をしました。

日常生活自立支援事業（あすてらす）
判断能力の不十分な方への金銭管理代行、書類等の預かり
・ 利用者18名（内新規登録7名） 支援件数延べ163件
◎ 生活福祉資金貸付事業（県社協事業窓口）
低所得世帯等に資金の貸付と相談支援を実施。加えて新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者に向けては特例貸付を実施
・ 特例貸付385件（総額1億5280万円）、特例以外の貸付4件（総額237万円）
町福祉金庫の運営
生活に困窮している方への緊急的な貸付と相談を実施
・ 貸付件数4件（総額11万円）

<p>行旅人旅費貸与事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用2件 	
<p>◎ フードバンクたかねぎわの運営</p> <p>食品の寄付を受け付け、様々な事情で食べ物に困っている方にお渡しする活動</p> <p>通常受付他フードドライブを献血時に実施(3回)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年末年始の期間、食品セット(ハートギフト)を提供(6件15名)。 食品寄付144件、食品提供117件 	【共同募金配分事業】
<p>△ 心配ごと相談所の開設</p> <p>8月から12月の間、民生委員の協力を得て、相談所を開設。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10回開設。相談件数7件 	【愛の基金事業】
<p>高根沢町無料法律相談事業の実施</p> <p>弁護士が法律的な諸問題の相談に応じる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4回開設、相談件数19件 	
<p>介護・介助用具貸与事業</p> <p>介護ベッド等の介護用具を無料貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護ベッド12件、車いす15件、四点杖4件、シルバーカート1件を貸出 	

ボランティア、住民活動の育成・強化活動

- ボランティア活動、住民活動を活発にするための環境を整備し、各種講座を開催しました。

<p>ボランティア保険助成事業</p> <p>ボランティア活動団体の活動保険料を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体登録9件、登録者数308名
<p>△ ボランティアセンターの運営</p> <p>ボランティア活動者の登録、活動先の調整及び人材育成を目的とした各種講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数65名、活動調整及び各種講座については中止
<ul style="list-style-type: none"> ● 学生ボランティア体験事業(サマボラ) ● 災害ボランティア養成講座

高齢者福祉事業

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護予防の充実に努めました。

<p>△ ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援</p> <p>登録したひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯に対して定期定な訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数(ひとり暮らし高齢者316名、高齢者世帯99世帯) ・ 戸別訪問を控えて主に電話にて安否確認を実施 	
<p>安心見守り牛乳事業</p> <p>75歳以上のひとり暮らし高齢者に対して2日に一度の牛乳宅配による安否確認を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者160名 	【愛の基金事業】

△ 一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ運動教室」の開催 福祉センター及び図書館3館、タウンセンターにて介護予防教室を開催 ・ 9月から12月の間、合計64回開催、参加者延べ574名	
△ 地域の居場所設置(ふれあいいきいきサロン) 地域のボランティアを担い手とした「ふれあいいきいきサロン」の設置 ・ 7月から12月の間、15か所で開催、内新規開設1か所(花岡東上)	【愛の基金事業】
高齢者見守り配食サービス ひとり暮らし高齢者及び高齢世帯への昼食配達による安否確認を実施 ・ 利用者70名	

障がい者福祉事業

■障がい児者の生活を支援し、地域に対して理解の促進を図りました。

△ 朗読ボランティアと連携した広報朗読テープ配布事業【共同募金配分事業】 ボランティアみすず会の協力を得て「広報たかねざわ」、「社協だより」の読み替えテープを作成 ・ 利用者5名、施設への設置12か所	
△ 定期手話講習会、講習生研修の開催 宝積寺タウンセンターにて手話講習会を開催 ・ 7月から12月の間、18回開催、参加者延べ180名	【共同募金配分事業】
● 障がい児と支援ボランティアとの交流事業	【共同募金配分事業】

福祉教育(青少年福祉)事業

■学校や関係機関との十分な連携を図り、福祉教育や体験学習の充実に努めました。

△ こどもと高齢者の交流事業 町内保育園にてシニアクラブ会員との交流会を実施 ・ 3保育園実施(ひまわり、空と大地、陽だまり)	【共同募金配分事業】
児童生徒等に対する福祉体験講師派遣 学校で行われる福祉学習プログラムの提案及び講師の派遣 ・ 阿久津小学校(福祉講話、視覚障害体験、手話)、東小学校(福祉講話)にて実施	

災害時対策事業

■災害を見据えた連携を図り、避難行動要支援者支援体制の強化を図りました。

△ 避難行動要支援者台帳の作成及び管理 調査員が情報の更新、新規調査等を実施 ・ 登録者491名	
福祉避難所支援物品の整備 福祉避難所設置に対して貸し出しできる物品を整備 ・ プライバシーパーテーション、エアーマット等を整備	【共同募金配分事業】
● 町災害対応訓練への参画	

福祉センターの指定管理運営

■施設の設置目的に沿った運営をし、適切な管理を行いました。

● 各種団体への会議室等利用

福祉相談窓口の運営とワンストップ総合相談窓口の検討

- ・ワンストップ総合相談窓口(※地域支えあいセンター)設置にむけた協議を実施

△ 高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進

将棋、囲碁、カラオケ、民舞、手芸など的高齢者サークル活動を支援

- ・9月から12月の間、実施したサークル活動を支援

情報発信

■社協だよりやホームページを活用し、社会福祉協議会に関する情報発信の充実を図りました。

広報誌「社協だより」の発行

【共同募金配分事業】

- ・年2回社会福祉協議会広報誌の発行(5月号、10月号)

● 町内各種イベントでの啓発

ホームページでの啓発

日本赤十字社事業

■日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区として、災害事業やボランティア支援を行いました。

火災見舞い品(布団、毛布、救急セット)の給付

火災等の被害を受けた世帯へ見舞い品の給付

- ・見舞い品支給1件

● 赤十字奉仕団員活動

その他の活動

不要入れ歯リサイクル

- ・不要になった入れ歯から金属を回収し入れ歯リサイクル協会を通じて寄付

善意銀行の運営

住民からの善意(物品寄贈)の窓口

- ・手作りマスク5件(およそ1,500枚)、生理用品、車いす3台の寄付を受ける

△ 各種委員会等への参画

- ・在宅福祉ネット、福祉避難所ネットワーク、多職種連携会議などが中止となる

募金活動

■活動の財源確保として各種募金の推進を図りました。

赤い羽根共同募金の推進(実績)

2,869,405円

日本赤十字会費納入の推進(実績)

2,335,000円

町愛の基金造成の推進(実績)

1,520,571円

社会福祉協議会費の納入推進(実績)

2,322,600円

各種義援金、救援金の募集

令和元年台風19号募金等

担当事務局

- 関連団体等との連携図り、必要な支援を行いました。

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区
日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区赤十字奉仕団
高根沢町シニアクラブ(運営支援)
高根沢町ひとり親家庭福祉会(運営支援)
高根沢町身体障害者福祉会(運営支援)

新型コロナウイルス対策事業

- 発生した新型コロナウイルスへの対策として各種事業を実施しました。

職員に対する感染対策の徹底 <ul style="list-style-type: none">・ 感染対策講義を全職員で受講し、対策方法、手技を学んだうえで各種事業に対応
特例貸付の相談受付窓口を設置(再掲) <ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍において収入が減ってしまった方を対象に特例貸付を実施
元気はつらつ運動教室だより「紫藤」の発行 <ul style="list-style-type: none">・ 活動自粛中の運動機能低下を防ぐために、自宅でできる体操や脳トレ情報を掲載した情報誌「紫藤」を2週間に1度発行
学校給食食材を福祉施設へ提供 <ul style="list-style-type: none">・ 給食センターの依頼により、学校休校により活用できなくなった食材を、福祉施設に提供するための調整を実施
手作りマスクの提供 <ul style="list-style-type: none">・ 寄付でいただいた多くの手作りマスクを町内の通いの場(エプロン、けやき館、のぞみ苑)に提供
新型コロナウイルス対策用品の貸出 <ul style="list-style-type: none">・ 非接触型体温計や簡易パーテーション等を貸出し、地域活動を支援
フードバンクによる食糧支援の充実(再掲) <ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍において食糧確保が困難になった世帯に対し食糧詰め合わせセット(ハートギフト2020-2021)を準備し年末年始期間に配布
感染予防の手洗い推進として「約束のハンカチ」事業を実施 <ul style="list-style-type: none">・ 赤い羽根マークの入ったハンカチを、小中学校新1年生に感染予防と新生活応援を目的に配布